

2025 年 12 月 4 日（第 2 版）

糖尿病・内分泌内科に通院又は入院中の／過去に通院又は入院された患者さん  
またはご家族の方へ

（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 5 年 7 月 1 日施行）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

【研究課題名】 腹腔鏡下スリーブ状胃切除術およびセマグルチドの減量効果の比較

【研究機関名・長の名前】 北海道大学病院 南須原 康行

【北海道大学病院の研究責任者】

中村 昭伸

（北海道大学病院 ダイアベティスマネジメントセンター 准教授）

連絡先：〒060-0838 札幌市北区北 15 条西 7 丁目

【研究代表機関名・研究代表者名・所属・機関の長】

大江 悠希

（釧路赤十字病院 内科 派遣医）

連絡先：〒085-0032 北海道釧路市新栄町 21-14

機関の長：病院長 近江 亮

【共同研究機関名・研究責任者名・機関の長】

NTT 東日本札幌病院 大江 悠希

（NTT 東日本札幌病院 糖尿病内分泌内科 医師）

連絡先：〒060-0062 北海道札幌市中央区南 1 条西 15 丁目

機関の長：病院長 吉岡 成人

【研究の目的】

当院および関連施設における腹腔鏡下スリーブ状胃切除術ならびにセマグルチド（ウゴービ®）の減量効果について検証すること。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

当院および関連施設で、腹腔鏡下スリーブ状胃切除術ならびにセマグルチド（ウゴビー®）による治療を受けた方

○利用する情報

①患者背景：年齢、性別、診断名、身長、体重、BMI、腹囲、罹病期間、合併症および関連疾患、既往歴、アレルギー、喫煙、飲酒

②体重、血圧、脈拍、③臨床検査(空腹時または随時)

尿・血液検査：尿検査（蛋白[定性]、糖、ケトン体、アルブミン/クレアチニン比、Na）、蓄尿検査（Na、アルドステロン[手術群のみ]）、空腹時血糖値、HbA1c、IRI（インスリン未使用時）、CPR、ヘモグロビン、白血球数、血小板数、AST、ALT、 $\gamma$ -GTP、ALP、総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、ChE、BUN、クレアチニン、Na、K、Cl、Ca、P、総コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪、LDL コレステロール、フェリチン、肝線維化マーカー（4 型コラーゲン 7s、ヒアルロン酸、Mac2bp）、内分泌（TSH、FT3、FT4、ACTH、コルチゾール、GH、IGF-1、PRL、LH、FSH、テストステロン[男性のみ]、E2[閉経前の女性のみ]）、CRP

④75gOGTT（インスリン非使用例のみ）

⑤動脈硬化（心臓足首血管指数（CAVI）、足関節上腕血圧比（ABI））検査

⑥胸腹部単純 CT 検査、⑦骨密度（骨塩定量）検査、⑧体成分分析（InBody）

○送付方法

上記のカルテ情報は、釧路赤十字病院に、CD-ROM／郵送・宅配で送付します。

[研究実施期間]

実施許可日(情報の利用、提供開始：2025年6月頃)～2026年6月末日

（登録締切日：2025年12月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 糖尿病・内分泌内科

担当医師 中村 昭伸

電話 011-706-5915 FAX 011-706-7710